**８　茨城**

**平成２９年度　全高長・教育課程研究委員会資料**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **先進的あるいは特色ある教育課程** | **学校名等** | **課程** |
| **「英語の４技能習得」** | **茨城県立竹園高等学校** | **全日制普通科** |

**ア　実施状況について**

1. **教育課程**

**（教育課程編成）**

・本校は開校３９年目の高等学校である。各学年８クラス，計２４クラス（１学年：普通・国際科，２学年及び３学年：普通科６クラス及び国際科 理系・文系 各１クラス 計２クラス）の全日制の学校である。

・平成１５年度に茨城県教育委員会による「イングリッシュ・シャワー・プログラム（ESP）」実施校の指定（３年間）を受け，「英語が使える高校生の育成」を目指した英語教育の充実と研究開発に取り組んだ。平成１８年度以降は，特色ある学校づくり支援事業を活用し，ESPの継続発展を目指して学校独自のACE（Approach to Communicative English）プログラムを実施し現在に至っている。ESPは国際科を中心とした取組であったが，ACEプログラムは，国際科，普通科を含めた学校全体の取組となっている。

**（授業展開）**

・英語コミュニケーション能力育成のために，ペアワーク，グループワーク等を取り入れ，コミュニカティブな授業を展開している。

・生徒同士の「学び合い」や「気づき」を促し，「深い学び」につながる学習者主体の授業に努めている。

・学年毎に共有のハンドアウトやパワーポイントを使用して授業を行っている。

・学年別プロジェクト(平成28年度実施実績)

第１学年：プレゼンテーション(グループ活動)，多読活動

第２学年：ディベート

第３学年：ディスカッション(普通科)，模擬国連(国際科)，エッセイライティング(共通)

1. **教員の指導力向上**

・「イングリッシュ・シャワー・プログラム（ESP）」(平成１５年)スタート時から現在まで，立教大学経営学部国際経営学科教授　松本茂先生にアドバイザーを委託している。

**③ 校内組織**

・ACEプログラムを英語科で実践している。

・国際科や企画研究開発部と連携して，JICA筑波研修員との異文化交流会や「探Q活動」（課題研究）の中間発表のプレゼンテーション(国際科２年生のシンガポールでのスタディーツアー）などを実施している。

**④ 施設設備**

・全ての普通教室に，プロジェクターと音響設備があり，音声，映像を取り入れた学習が常に

可能な環境にある。

**⑤ 取組の成果の（都道府県）全体への普及・共有方法**

・文化祭で，校内英語スピーチコンテスト及び英語部２年生と３年生による公開ディベートを

一般公開している。

　・本校アドバイザーである松本茂先生を招き，「ACEプログラム講演会」(４月)，「ACE公開授業及び研究協議会」(12月)を実施する際には，広く県内の中学校・高等学校英語教育関係者の参加をいただいている。

　・英語部の生徒がつくば市立柳橋小学校を訪問し，「小学校出前授業」を実施した(昨年度，一

　　昨年度と２回実施)。

**イ　今後の課題**

・原則として，オールイングリッシュの授業を行っているが，発話量，文法，訳読等の重み付

けについて学年間で差がある。

・卒業時における具体的な最終目標，学年目標，Learning Outcomes，Can-do等を正確に共有するために、英語科内での話し合いをより深化させることが求められる。

**茨城県立竹園高等学校ホームページ　　http://www.takezono-h.ibk.ed.jp/**